



高農金 同窓会新聞

第 32 号

立 田 県 秋 田 市 金 足 追 分 字 海 老 穴 102 の 4
 秋 田 県 立 金 足 農 業 高 等 学 校 同 窓 会 発 行
 〒010-0126
 ☎ 018-873-3311
 FAX 018-873-3313
 株式会社 八郎高印刷
 ☎ 018-875-4005



サキホコレ 金農プロジェクト

同窓会会長 高橋 浩 人

穀雨の季節となり青田の勢が増す頃、金足農業高同窓会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

これまでコロナ禍が続く学校行事にも影響が出ていましたが、今年度より感染症レベルが五類に引き下げられましたので、学校の活動も元に戻って金農も活発になることを願っております。

新たに工藤雅文校長が着任いたしました。工藤校長は金農の甲子園準優勝のときの高野連理事長であり、甲子園で金農の全試合を見られたとのことでした。金農野球部復活にも期待をしたいと思っております。

また、本年の入試においても残念ながら入学生の定員割れがありました。中学生の減少もありますが、昨年が続いての状況に心配し

ている同窓も多いと思えます。工藤新校長のもと、同窓会としても定員割れにならないよう協力していききたいと思っております。

同窓会では、金足農業高等学校創立百周年と新校舎建設を契機に、今後も金農が発展し学校・生徒・同窓が「咲き誇る」よう、学校と同窓が連携して取り組む「サキホコレ金農プロジェクト」を計画いたしました。

具体的には令和五年〜令和七年を百周年強化期間、令和八年〜九年を百周年前事業、令和十年は百周年記念事業・式典・祝賀会、令和十一年は百周年後期事業を計画しております。

新校舎建設は本年度より農場の整備と野球場の造成工事に始まります。野球場移転後、グラウンド跡地には新校舎が建設されます。令和十年百周年の時には、

まだ、すべてが完成しておりませんが、新校舎棟の見学などができればと思っております。

食料安全保障が日本の重要課題となっており、農業の果たす役割は益々重要となり、広く農業について学ぶ農業高校に期待が寄せられております。

これから百周年に向けて「サキホコレ金農プロジェクト」のもと金農が咲き誇るよう取り組んで参りますので、同窓の皆様のご協力をよろしく願っています。

母校の発展と同窓会員の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

私共は、今年四月に第二十九代校長として赴任した工藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。学校は今年創立九十五年を迎えております。この間、農業教育を通じて広く人間性を高く、実践力と創造性に富む人材を育成することを教育目標に謳い、自主・勤労・感謝の教育方針（校是）は一貫して受け継がれております。そして、素晴らしい歴史と伝統に支えられ、地域に愛される県内随一の教育環境も変わっておりません。このような学校に校長として勤務できるこ



Change the future!

校長 工藤 雅文

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援を賜っておりましてことに心より感謝申し上げます。

とは、この上ない喜びであるとともに、大きな責任を感じながら日々生活しております。

私は、高い能力と志を持って入学してくる生徒の資質に磨きをかけ、さらに輝く人間として社会に送り出すという使命を担っていることは言うまでもありません。卒業生の皆さんが青春を謳歌し、「やがて来む文化の黎明 この道に われら拓かむ」の精神から育まれた力を卒業後に各方面で発揮して活躍されているように、金農に入学してき

た後輩達が、同窓会員となるまでの三年間に「伝統」を受け継ぎながら新しい「歴史」を築き、社会の変化に対応できる人づくりに務めたいと思っております。

最後に、今年金農は「Change the future!」というキャッチフレーズを合言葉に、新たな「歴史」と「伝統」を育んで参ります。今後も同窓生の皆様のご支援をお願い申し上げます。同窓会の益々のご隆盛と会員の皆様のご健勝を祈念して、あいさつとさせていただきます。

滞りなく本会を終えることができましたことに、改めて関係者の皆様へお礼申し上げます。

また、今年度は、昨年より一名増え二名の新入会員を迎えており、大変喜んでいるところであります。

今後も、多くの卒業生を当会に送り出して頂くをお願いするとともに、母校の益々のご活躍とご発展をお祈りいたしております。

支部だより



秋田市役所草の芽会

会長 石井 徳

令和五年一月十三日（金）、秋田キャッスルホテルにおいて、令和五年秋田市役所草の芽会総会および新年会を開催しました。

当会は、秋田市役所に在職する金足農業高校同窓会員で組織し、会員相互の親睦を図ることなどを目的に、昭和三十九年に発足し、

当市役所においても長い歴史を有する会として、現在、九十六名の会員が在籍しております。

当日は会員四十七名と伊藤功一 同窓会副会長をはじめとし、平沢 隆志先生、佐々木周幸先生や同窓の市議会議員の方々など多数のご来賓からも出席をいただきました。

伊藤功一 同窓会副会長から、母校の近況報告などをいただきながら、終始なごやかな雰囲気のもと

令和5年度 同窓会一般会計予算書(案)

令和5年5月26日

収入総額 3,488,000円
支出総額 3,488,000円
差引残額 0円

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, This Year Budget, Previous Year Budget, Comparison (Increase/Decrease), Summary. Rows include fees, donations, and interest.

支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, This Year Budget, Previous Year Budget, Comparison (Increase/Decrease), Summary. Rows include administrative costs, activities, and other expenses.

令和4年度 同窓会一般会計決算書

令和5年5月26日

収入総額 4,125,381円
支出総額 2,505,758円
差引残額 1,619,623円

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, This Year Budget, This Year Actual, Comparison (Increase/Decrease), Summary. Rows include fees, donations, and interest.

支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: Item, This Year Budget, This Year Actual, Comparison (Increase/Decrease), Summary. Rows include administrative costs, activities, and other expenses.

Calendar table for fiscal year 2023 with columns for dates and events like general assembly and board meetings.

令和5年度 事業計画(案)

Calendar table for fiscal year 2022 with columns for dates and events like board meetings and general assembly.

本部・支部事業

令和4年度 会務報告

部活動紹介

野球部

部長 森合慎一郎

金足農業高校野球部は春・夏合わせ九回の甲子園出場を誇る歴史と栄光のある部活動です。ご存じのとおり第一〇〇回全国高等学校野球選手権大会では準優勝という結果を残すことができました。そのような輝かしい過去を持つ金農野球部ですが、現在は選手五十名、マネージャー十六名の計五十六名で活動しております。春季大会では多くの方々に足を運んでいただきありがとうございました。

昨夏は秋田県大会三回戦敗退、昨秋に関しては出場が叶いませんでした。悔しい気持ち、やりきれない気持ちから自分たちは変わらなければならぬと強く思いました。その時にOB O G会の力を借りて金足農業高校野球部の「未来創造プロジェクト」が発足しました。体質改善から取り組み、選手・マネージャー・指導者が数々の話し合いの場を設け、その協力を得て今まさに変わろうとしています。「革新金農野球部 対話から勇気と覚悟で今を未来へ繋げる」という



テーマの下、互いを尊重し合い、主体性を持って競技を極めようとする、そのような選手の育成を目指しています。

このプロジェクトを経て、夏の選手権大会では最高の結果が出せるように日々の練習に取り組みしていきます。一球への執念、不撓の精神は先輩方から受け継がれてきた大切なスピリットです。新しくアップデートしていく金足農業高校野球部をどうかよろしく願っています。

吹奏楽部

顧問 小笠原清輝

吹奏楽、最近の生徒は吹部と呼んでいます。ご存知の通り昔はブラバンと言われてました。秋田県は、しばらく吹奏楽王国と称されていきました。中学校・高校・一般の団体と全国大会の常連校がひしめき合っていました。そのため令和五年現在も楽器を吹いているメンバーは老若男女様々です。親子三代で関わっているというのも珍しくはない状況です。

さて、前置きが長くなりました。金足農業吹奏楽部は、現在十八名で活動をしています。この新聞が発行されているころには、丁度、コンクールの前後でしょうか。我々は、小編成の部に参加します。所謂、課題曲のないグループです(昔と編成が変わり、今は、大編成と的小编成になっていきます)大編成が、全国大会まで、小編成は、東日本大会です。今年は、昨年度より一週間早まり、六月末の開催です。どこも条件は同じなのでベストを尽くして臨みたいと考えております。ちなみに、令和四年度は、中央地区大会は、金賞で通過して秋田県大会に出場しております。審査員に判断してもらい前に、我々の今できる最高の演奏でお客さんに披露したいものです。



他には、活動の一環として、定期演奏会を六月上旬に開き、コンクールの自由曲、誰もが知っている曲などを演奏してまします。毎年、野球部のメンバーの応援もいただいております。大変感謝をしております。定期演奏会、コンクール、アンサンブル、学校祭(収穫祭)、これらが、年間を通しての活動になっております。普段から生徒に言っている言葉として、「我々は、音を出してなんぼの世界」、音楽に言葉は不要と思われまします。感動して泣くことも有り、音楽やっけて良かったという場面も数多くあります。吹奏楽というジャンルを通じて、生徒自身が、生涯音楽を愛し続ける、関わっていききたいと考えております。今後とも金足農業吹奏楽部を応援して下されば幸いです。

令和四年度卒業生の進路状況について

進路指導部 佐藤和悦

1 進路概況

令和四年度の卒業生は、百六十九名(男子八十五名、女子八十四名)で、そのうち就職者は八十六名(男子五十名、女子三十六名)で全体の五〇・九%にあたり、昨年度と同様、進学者数八十一名(男子三十五名、女子四十六名)を上回りました。県内就職者は、七十四名(男子四十一名、女子三十三名)で就職者の八六・〇%を占め、例年に比べてもかなりの高水準になりました。これは、今でこそ収束傾向に向かつてはいるものの、コロナ禍の影響により県外への就職を躊躇する生徒が多かったためと推測されます。

3 進学状況

進学者の内訳は、四年制大学三十四名(男子二十名、女子十四名)、短大十三名(男子二名、女子十一名)、専門学校三十五名(男子十三名、女子二十二名)となっています。国立大学では、昨年に引き続き秋田県立大学に七名合格することができました。私立大学も例年通り農業系の大学とスポーツ推薦の生徒が大半でしたが、英語を学びたいと国際学部へ合格した生徒や、学校設定科目で地域について学んだことから地域創生の学部に進んだ生徒など特色のある進学をした生徒もいました。専門学校に関しては様々な分野への進路選択が見え、コロナ禍の取束に伴い県外に向けて選択肢を広げていきそうな予感があります。

2 就職状況

令和二年度は、コロナ禍のため就職日程が一ヶ月後ろ倒しになりましたが、三年度に引き続き四年度も例年通りの日程となりました。求人数は、飲食店・調理関連の求人は少なかつたものの、建設・土木をはじめとする県内各企業の採用意欲は高く、八十六%の生徒は一回目の試験で内定をいただくことができ、その他の生徒もほぼ十二月までには内定をいただくことができました。公務員に関しては、令和二、三年度の十六名を上回る二十一名が合格しました。国家一般職、秋田県職にそれぞれ五名、秋田県警に一名、行政職に三名、消防にも一名合格者を出すことができました。高卒後最初の就業先は県内十三名、県外八名です。

4 一終わりに

令和四年度、求人数に関してコロナ禍の影響はあまり感じられませんでした。ただ、まだ様々なところで制限があり、不安要素が進路選択に大きく影響してしまいました。

令和五年度に入り、コロナ関連ではようやく落ち着きを取り戻しつつありますが、国際的にはウクライナ問題もあり、今後の景気動向も依然として不透明です。学校としてもよりきめ細かく進路指導していかねばならないと考えていますが、同窓生の皆様にも是非ご支援をいただき、チーム金農体制で社会に貢献できる人材の育成に努めていきたいと考えております。今後ともよろしく願っています。

学校創立
記念講話



「夢を夢で終わらせるか、終わらせないかは自分的」というタイトルで四月二十二日(土)に母校で学校創立記念講話が開催されました。講師は、平成二十二年環境土木科卒の原田貴行氏です。原田氏は、現在JR東京駅構内でイタリアンカフェ「TOKYOPANINO」でパスタ兼店長を務めています。高校在学中は陸上部に所属、二十五歳の時に山道を走るトレイルランニングに魅了され、全国各地大会に参加する傍ら各地のカフェ巡りも熱心に行っていました。高校時代からの夢であったコーヒー店を経営する夢が叶った原田氏である。

令和4年度

「同窓会」会費

納入状況・案内送付状況

- 1 会報発送数 3,098通
- 2 振込数 合計 613件
- 3 振込総金額 合計金額 1,242,000円
- 4 返信数(宛名不明) 63件

「同窓会」会費納入のお願い

会費につきましては、同窓会の運営や同窓会の目的でもある農業教育の振興や母校発展に寄与するため運営資金として活用させていただいております。

会員の皆様には、母校の同窓会活動へのご理解とご協力をお願いするとともに会費の納入をお願いいたします。

編集後記

皆様のご協力により、同窓会新聞第三十二号を発行することができました。ことに感謝申し上げます。

母校は、令和五年で創立九十五周年を迎えました。この間、二万名を超える卒業生(令和五年三月卒業で総数二万三、七八一名)を輩出してまいります。この秋

から校舎改築工事がいよいよ着手されます。ここ数年で校内の風景も大きく変わってまいります。同窓の皆様には、機会があればその様子を見ていただければ幸いに存じます。最後に、会員の皆様におかれましてはますますのご健勝を祈念し、発刊のご挨拶とさせていただきます。同窓会事務局 平沢 隆志

令和5年度

同窓会総会のご案内

令和5年度同窓会総会の準備と運営を当番幹事が担当して、同窓会総会を次のとおり開催します。

同級・同期や先輩・後輩等お誘い合わせの上、多くの会員の出席を心よりお待ちしております。

- 1 開催日 令和5年8月20日(日)
- 2 会場 ANAクラウンプラザホテル秋田
- 3 参加予定者 200名程度
- 4 内容予定
 - (1) 総会 午後3時00分から
 - (2) 特別企画 押尾川親方講演会
 - (3) 懇親会 午後4時15分から(会費7,000円)

5 当番幹事

昭和58年3月卒業・平成5年3月卒業・平成15年3月卒業・平成25年3月卒業の各科代表

6 問い合わせ

秋田県立金足農業高等学校 同窓会事務局 (担当:平沢隆志)

TEL 018-873-3311 FAX 018-873-3313

*出席される方は、返信用ハガキに必要事項記載の上、7月20日(木)までご返信願います。

当番幹事について(連絡・お願い)

当番幹事(生徒会役員経験者、農業クラブ役員経験者、各科代表等)の皆さんで総会の準備や運営をいたします。時期が来ましたら、幹事会を開いて打合せを行いますのでご参加ください。

令和6年	昭和59年 3月卒業	平成6年 3月卒業	平成16年 3月卒業	平成26年 3月卒業
令和7年	昭和60年 3月卒業	平成7年 3月卒業	平成17年 3月卒業	平成27年 3月卒業
令和8年	昭和61年 3月卒業	平成8年 3月卒業	平成18年 3月卒業	平成28年 3月卒業